

発行：東京都港区虎ノ門  
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ  
ィング西棟4階  
富士通虎ノ門オフィス内  
Mail: icscp@nifty.jp Ver. 2  
2015年1月30日(金) No. 022

**ICSCP 産応協ニュース** <第22号>  
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)  
Industry Committee for Super-Computing Promotion

## 第13回実行委員会開催報告 (2015/1/22)

### [報告事項]

- ・企画委員会(12/4)/第15回運営委員会・総会(12/10)開催
  - ・第7回シンポジウム開催(12/10)
  - ・中小企業シミュレーション技術交流会開講(11/19)
  - ・第3回ものづくりワークショップ開催(12/19)  
ベンチマーク作業の対応等
  - ・第31回(平成26年度第3回)スパコンセミナー開催(1/23)  
TCCI第4回シンポジウムとの共催実施
- ### [審議事項] 平成26年度事業活動のまとめと次年度に向けて
- ・ビジョン策定とロードマップ整備について  
次年度活動への対応等
  - ・海外事例調査成果結果の取りまとめについて  
調査の検収完了と報告書作成等
  - ・アンケート調査結果のまとめについて  
連携機関への調査結果報告等
  - ・HPCスクール実践コース開講に向けて  
開催提案と次年度への対応等
- ### [活動強化への協力要請]
- ・産業基盤ソフトWGの今後の進め方について

## 産応協第31回スパコンセミナー/ TCCI第4回産学連携シンポジウム開催報告

～触媒研究開発における理論・計算化学の貢献～

### ●開催趣旨

平成26年度第3回目のセミナーは、計算分子科学研究拠点(TCCI)との共催により「触媒研究開発における理論・計算科学の貢献」をテーマといたしました。触媒は化学産業を根底から支える技術であるだけでなく、産業界における計算化学の黎明期から現在に至るまで、主要な応用先であり続けている分野でもあります。

本セミナーでは、京都大学触媒・電池元素戦略研究拠点のご協力もいただき、各々第一線でご研究されているアカデミア及び産業界の先生々を講師にお招きし、ご講演頂きました。合わせて我が国のスーパーコンピュータの開発・利用の取り組みについて情報発信しました。

### ●実施概要

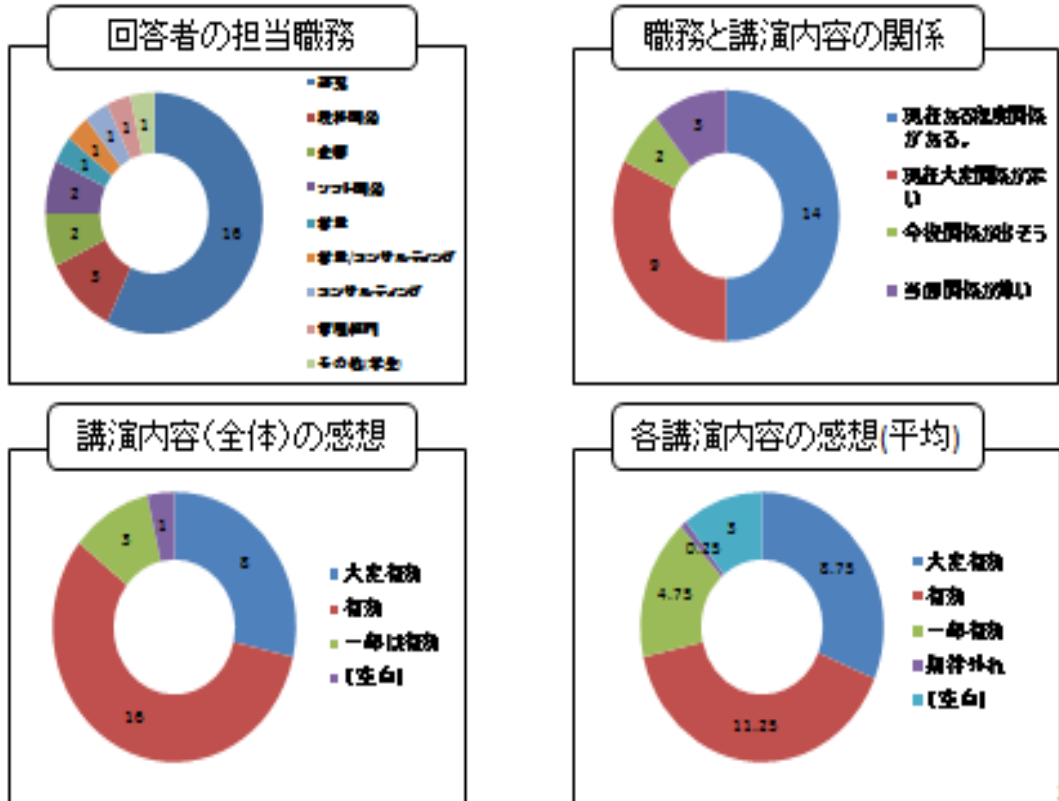
- 主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協/ICSCP)  
分子科学研究所 計算分子科学研究拠点(TCCI)
- 協賛：京都大学触媒・電池元素戦略研究拠点(ESICB)、公益財団法人計算科学振興財団
- 日時：2015年1月23日(金) 13:00～17:00 及び 懇親会
- 場所：東京大学 弥生講堂 一条ホール
- 参加費：**無料**(但し、懇親会は5,000円)
- 懇親会：東京大学 弥生講堂 会議室
- 参加者数：85名(内、民間企業48名)
- 受付/進行：TCCI
- 予稿集作成：産応協
- 懇親会対応：TCCI

●プログラム

13:00 - 13:05	(分子研/東大院総合文化)	高塚 和夫	開会の辞
13:05 - 13:10	(産応協/ダイキン工業)	伊藤 宏幸	ご挨拶
13:10 - 13:15	(産応協)		セミナー概要に関する挨拶
13:15 - 13:40	(文部科学省 研究振興局参事官 (情報担当) 付計算科学技術推進室長)		川口 悦生
13:40 - 14:25	(分子研)	江原 正博	「スーパーコンピュータ開発・利用の取り組みについて」 「触媒・電池元素戦略研究拠点における実験と理論の協力強化に向けて」
14:25 - 15:10	(北大院理)	武次 徹也	「元素戦略に基づく触媒設計における理論計算の役割」
15:10 - 15:25			休憩
15:25 - 16:10	(分子研)	石村 和也	「超並列量子化学計算プログラム SMASH の 開発・公開及び応用計算」
16:10 - 16:55	(三井化学)	中野 隆志	「三井化学における触媒反応解析」
16:55 - 17:00	(産応協)		閉会の挨拶
17:00 - 17:15			移動・休憩
17:15 - 19:00		懇親会 @東大 弥生講堂	会議室

4. アンケート結果(産応協まとめ)

アンケート回答者数:28名



## 平成 26 年度 HPC 産業利用スクール開催計画の確認

産業界においては、次のイノベーションの担い手となる人材の育成を目的として、以下の項目を産業界からの受講者に提供と情報交流を行い、分野 4「次世代ものづくり」との連携事業を平成 21 年度から実施してきている。

- ・ HPC 技術を習得する機会
- ・ 企業における HPC 技術の役割や導入・整備のあり方、さらに、国の HPC 共用施設を企業として有効に利活用する戦略立案の考え方
- ・ HPC 担い手である技術者・研究者において、互いに協調”できる部分を見出し、業種を超えたネットワーク構築のきっかけ

この間、我が国の産業界にとっては「京」スパコンの稼働・運用、さらにポスト「京」の検討等の展開が進み、取り巻く環境が大きく変化してきている。産業利用のスクール開講の在り方も産応協独自の運用が期待され、また、実践コース等では、連携機関で同様な取り組み等、重複を避けるために平成 26 年度では、あえて実践コースの開講を取りやめることとし、さらに現実に合った新たな展開を模索することとなりました。

### 利活用人材育成年次計画 (HPC産業利用スクール開講実績)

H21年度	H22年度	H23年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 8月11日 入門コース(正統・横浜) 場所(生研) 33名</li> <li>- 10月15日、16日 実践コース(正統) 場所(生研) 20名</li> <li>- 12月10日11日 実践コース(横浜) 場所(生研) 9名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 5月16日 入門コース(正統・横浜) 場所(大阪) 30名</li> <li>- 7月16日、17日 実践コース(正統) 場所(生研) 11名</li> <li>- 9月24日、25日 社マースクール 場所(生研) 3名</li> <li>- 3月9日10日 実践コース(ナノテック) 場所(生研) 9名</li> <li>- H23.2月 先端コース(横浜・正統) 場所(生研)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 8月30日 入門コース(正統・横浜) 場所(神戸/計算科学C) 12名</li> <li>- 1月30日、31日 実践コース(横浜) 場所(京大生研) 8名</li> <li>- 2月7日8日 実践コース(ナノテック) 場所(京大胎キャンパス)</li> </ul>
H24年度	H25年度	H26年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 11月11日(木) 「京」特別コース 場所(生研) 受講生10名 * 受講生+講師5名+研修センター9名 により、「京」やHPCを取り巻く環境、展開等について詳細解説研修 アワードの授賞式。 受講者が社内に持ち帰り、伝承者となれるようが予定。 - 12月5日、6日 実践コース(正統) 受講生20名 * 機械学会CFDスクールとの共催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 10月13日、19日 オートナムスクール 場所(都内研修所) * HPC利活用でイノベーション創出 - H25年1月15日 「京」特別コース 場所(生研) - H25年 3月26日 実践コース(正統)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 9月19日、20日 オートナムスクール 場所(多摩永山情報教育センター) 受講生23名</li> </ul>

## 今後の予定

2/18 第 14 回企画委員会開催

### [産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com